

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）  
事後評価結果

研究課題名	核・オルガネラコンソーシアムによる真核細胞の構築原理の研究	研究代表者名 (所属・職)	田中 寛(千葉大学・大学院園芸学 研究科・教授)
-------	-------------------------------	------------------	-----------------------------

### 研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

### 評価意見

本研究課題は葉緑体、ミトコンドリアを1つずつしかもたない原始的真核生物シズンを用いて、核とオルガネラ間の相互作用から真核細胞構築原理を明らかにしようとするものである。

本研究課題の推進により、テトラピロールにより葉緑体から核への転写調節が生じることを明らかにし、オルガネラの分裂が細胞分裂を制御していることを示したこと、また、ゲノム情報を用いた研究から、多くの原生生物が元来色素体を共生オルガネラとしていたが、その後失ったとする可能性を指摘したことは、重要な成果である。さらに、シズンの形質転換法の確立は、今後この実験系を用いた研究の発展に大きく貢献することが期待できる。

本研究課題は、ユニークな生物の全ゲノム情報の完全解読を基礎にして核とオルガネラ間の相互作用の研究に新しい展開をもたらしており、学術創成研究費に値するものとして高く評価される。